

協働の森パートナーズ協定

交流活動イベントのレポート

人が森を助ける。
森が人を助ける。



「環境先進企業との協働の森パートナーズ協定」については、高知県林業振興・環境部林業環境政策課のHPをご覧ください
<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/kyoudounomori/>

協定企業：四国電力株式会社様
協定森林：「四万十 よんでんの森」
開催場所：四万十町
開催日：令和7年11月20日（木）
参加者数：32名
（四国電力株式会社様、
公益社団法人オイスカ、
四万十町立北ノ川小学校、
四万十町、高知県）



令和7年11月20日（木）、四国電力株式会社様、公益社団法人オイスカ、北ノ川小学校、四万十町、高知県による交流活動が行われました。今年も、北ノ川小学校の3・4年生や環境保全活動などを行う「オイスカ四国支部」の海外研修生らが参加してくださいました。

<雑木伐採体験の様子>

四万十町の職員から伐採方法について説明を受けた後、ノコギリを持って伐採開始です。最初は少し戸惑う様子もありましたが、すぐに慣れて作業が進み、きれいに整備することができました。



↑ 伐採後の森林

<植樹体験の様子>



今回植樹するのはモミジです。
スコップで穴を掘り肥料をまいて植えた苗木に児童たちが描いたプレートを付けました。



<閉会式の様子>



参加した児童からは、「道路のほうから見えるくらい大きくなってくれたら嬉しいです」と感想があり、四国電力高知支店の西村総務部長からは、「今日の体験を通して、森の環境を守っていく方法を理解し、その意識を持ち続けてほしい」とご挨拶をいただきました。

これからも企業と地域との交流が益々進んでいくことを期待しております。今後ともよろしくお願ひします。



人が森を助ける。
森が人を助ける。

